

令和4年度 事業計画書

社会福祉法人 齊 慎 会
特別養護老人ホーム西之島の郷

1 西之島の郷 概要

施設 の 名 称	特別養護老人ホーム西之島の郷
所 在 地	〒438-0041 静岡県磐田市西之島 26 番地 1
設 置 認 可 日	平成 20 年 3 月 12 日
事 業 の 種 類	

1	事 業 所 名	特別養護老人ホーム 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定介護老人福祉施設
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	80 名
2	事 業 所 名	短期入所施設 西之島の郷
	介護保険事業種別	指定（介護予防）短期入所生活介護
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	20 名
3	事 業 所 名	西之島の郷 居宅介護支援事業所
	介護保険事業種別	指定居宅介護支援
	事 業 所 番 号	2276900228
	定 員	—

2 運営計画

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が衰えを見せず、磐田市の高齢者施設においても毎日のように感染者の報告がなされています。現在流行しているオミクロン株は重症化しにくいと言われていますが、基礎疾患の多い高齢者にとっては安心できるものではなく、強い感染力によるクラスター感染の発生がいたるところで報告されています。幸い、当施設においては 2 月中旬にはほぼ全てのご利用者と職員のワクチン 3 回目接種が終了し、日頃からの「新しい生活様式の実践」による基本的な感染対策の効果も相まって、施設内感染者の報告は今日現在数名に留まっております。しかしながら、同居家族感染による濃厚接触者の自宅待機職員は徐々に増えており、これからの適正な施設運営の継続に不安が増しています。今後、より重症化しやすく感染力の強いと言われるステルスオミクロン「BA2」への置き換わりが懸念されるなか、健全な施設運営を継続していくためにも、コロナ感染症に対する徹底した感染対策を継続することを重点課題といたします。西之島の郷のすべての職員が、コロナ禍にどう向き合いどう対応していくかをしっかりと共有したうえで、今年 1 年間の施設運営に取り組んで参ります。

今年度の重点施策としては、第一に、コロナ禍においても、ご利用者、ご家族にとって安心で安全な生活環境を提供します。職員については、日頃より「新しい生活様式」を実践し基本的な感染対策を継続することで、施設内に感染症を「持ち込まない・拡げない」対策を徹底します。コロナ感染症発症の有事の際は感染症マニュアルを遵守し、個室対応・隔離等の適正な初動の感染対策を実施します。また、オンライン等の適切な web 媒体を活用して感染リスクの軽減に努め、同時にオンライン面会や定期的な状況報告、看取り期における LINE 活用等、ご家族が必要としている情報を提供することで信頼関係の構築に努めます。ご利用者の日々の健康状態においては、体調不良の早期発見と適正な処置対応を行うことで、ご家族やご本人様が望まれる施設での生活を最後まで維持できるよう努めます。コロナ禍において、行事や外出の機会は限られてしまいま

すが、感染対策に配慮しながらも食に関する企画や、ユニット単位のレク 행사를定期的に行うことで、ご利用者の満足度を追及して参ります。

第二に、コロナ禍においても、職員にとって働き甲斐のある優しい施設を目指します。「ほのぼの」介護ソフトのクラウド化が浸透し、記録類のデジタル化と情報共有の一元化が図られていますが、眠り SCAN やタブレット PC 等の施設内 ICT 化を更に推し進めることで、介護業務の効率化と負担軽減を促進して参ります。また、コロナ禍の長期化による職員の心身の健康状態にも配慮し、職員のメンタルヘルス研修や必要に応じた個別面談等も適時実施して参ります。さらに、昨年度から実施しているオンライン WEB 研修を積極的に活用し、職員のキャリアアップ支援を充実させるとともに、コロナ禍で中断されていた介護福祉士実務者研修の受講支援制度を再開します。職員の処遇改善においては、介護職員処遇改善支援補助金による介護職員およびその他職員の処遇改善を実施して参ります。

第三に、コロナ禍においても、経営基盤を安定させた適正な施設運営体制を構築します。昨今の自然災害や感染症への備えとして事業継続計画（BCP）を策定し、シミュレーションと模擬訓練を実施して参ります。また、昨年度の介護保険制度改正における科学的介護の取り組みの推進においては、フィードバックデータの活用と運用を実践し、適正な加算算定要件の評価を行います。人事・労務管理における法改正への対応については、パワハラ防止対策や男性育休等の環境整備、パート及び非常勤職員の社会保険の適用範囲拡大について適正に対応して参ります。さらにコロナ禍の閉鎖的な環境において組織の形骸化が危惧されるなか、事業所や施設の枠組みを超えたジョブローテーションも視野に入れることで、職員個々のスキルアップと組織の活性化を図って参ります。また、目まぐるしく変化する世界情勢の動向にも目を向け、世界経済への影響やエネルギー資源の高騰等にも注視し適正な施設運営管理を行います。

最後に、コロナ禍においても社会福祉法人としての役割を発揮し「地域における公益的な取り組み」を継続します。コロナ禍が長期化していますが、地域の感染状況に配慮しつつ「オレンジカフェ」や「出張！まちの保健室」等の地域住民と交流できる場を少しずつ開催いたします。また、磐田市社会福祉法人連絡会と連携して開設している「福祉なんでも相談窓口」の機能においても徐々に活性化を進めて参ります。同連絡会が窓口である「磐田市の地域を考える法人プロジェクト」とも協同し、昨年度から始まっている磐田北高校と社会福祉法人との連携プロジェクトにも積極的に参加いたします。

3 重点施策

1 コロナ禍においても、ご利用者、ご家族にとって安心で安全な生活環境を提供します。

- ① 基本的な感染対策を継続し、施設内に感染症を「持ち込まない・拡げない」を徹底します。
- ② 有事の際は感染症マニュアルを遵守し、個室対応・隔離等の適正な初動の感染対策を実施します。
- ③ オンライン等の適切な web 媒体を活用することで、ご家族との信頼関係の構築に努めます。
- ④ ご利用者の日々の健康状態を観察し、体調不良の早期発見と適正な処置対応に努めます。
- ⑤ コロナ禍の中でも満足して利用していただける魅力的な事業運営を目指します。

2 コロナ禍においても、職員にとって働き甲斐のある優しい施設を目指します。

- ① 施設内の ICT 化により記録類のデジタル化と情報共有の一元化を促進し、介護業務の効率化と負担軽減を図ります。
- ② コロナ禍の長期化に配慮し、職員のメンタルヘルス研修や個別面談等も適時実施します。

- ③ オンラインWEB研修を活用した職員のキャリアアップ支援を充実させます。
- ④ 介護福祉士実務者研修の受講支援制度を再開します。
- ⑤ 介護職員処遇改善支援補助金等による職員の処遇改善を実施します。

3 コロナ禍においても、経営基盤を安定させた適正な施設運営体制を構築します。

- ① 災害や感染症への備えとして事業継続計画（BCP）を策定し、シミュレーションを実施します。
- ② 科学的介護の取り組みの推進において、フィードバックデータの運用を実践します。
- ③ 人事・労務管理における法改正への対応を適正に進めます。
- ④ ジョブローテーションの実施により、職員個々のスキルアップと組織の活性化を図ります。
- ⑤ 世界情勢の動向を捉え、世界経済への影響やエネルギー資源の高騰に注視します。

4 コロナ禍においても、「地域における公益的な取り組み」を継続します。

- ① 地域の感染状況に注視し、「オレンジカフェ」や「出張！まちの保健室」を開催します。
- ② 磐田市社会福祉法人連絡会と連携し「福祉なんでも相談窓口」の機能を活性化します。
- ③ 磐田市の地域を考える法人プロジェクトと協同し、磐田北高校との連携を強化します。

4 各サービス及び部署の目標

I 特別養護老人ホーム

【介護部】

- 1. 日々の暮らしが安心・安全なものとなり、楽しく過ごすことができるように支援します。
 - ① コロナ禍においても、日々の生活の中で入居者様と職員が共に楽しめる企画を実施します。
 - ② 基本的なケアにおける食事、排泄、入浴に関する個別の要望を引き出し支援します。
 - ③ ご家族様へ定期的な情報発信を行うことで、コロナ禍におけるより一層の連携に努めます。
 - ④ 新型コロナウイルス感染症の地域感染状況に応じたご家族との面会対応を都度協議します。
 - ⑤ 緊急時における事業継続（BCP）のためのユニットの運営方法、手段の構築に努めます。
- 2. 美しく温かな優しい介護を推進します。
 - ① 入居者様との言葉掛けは丁寧語を使い、スピーチロックゼロを徹底します。
 - ② 社会人の基本である挨拶、表情、身だしなみ、態度、言葉遣いを意識し、気持ちのよい対応を外部、内部研修を通じて促進します。
 - ③ 施設全体におけるユニットケア（ソフト・ハード・システム）の再検証を行うことで、ユニット間相互の連携を強化します。
- 3. 職員個々の介護力の向上に努めます。
 - ① オンラインツールを活用した外部研修の参加を促進し、更に内部研修を開催することで他職員にもフィードバックを行います。
 - ② OJT担当者による教育システムを活用し、新任職員の育成体制の強化を図ります。
 - ③ 目標管理シート、推進計画、人事考課により目的意識の共有を図り実践します。
- 4. 業務改善・整理とシステムの構築に努めます。
 - ① 「ほのぼの」の運用による記録の電子化と分析統計を活用することで、日々のサービス向上

と効率化を図ります。

- ② 現状の業務負担の振り返りと福祉用具の効果的な活用を検証することで業務改善を図ります。
- ③ 新型コロナウイルス感染症における感染症対策の強化を図ります。
- ④ 介護保険制度改定にともなうマニュアル改定と対応の周知を行います。

【看護部】

1. 「新しい生活様式の実践」の啓発を継続して行い、新型コロナウイルス感染症を持ち込まない・拡げない対策を徹底します。
2. ご利用者の体調不良の早期発見と適正な処置対応を行うことで、施設での生活を維持できるよう努めます。
3. 定期的な看護部会を開催し情報共有を確実にすることで、看護職員個々のスキルの標準化を目指します。
4. 褥瘡対策や排泄支援、看取り期における看護の後方支援の役割を理解し、多職種との連携強化を図ります。

【生活相談部・介護支援専門員】

1. 待機者名簿上位者への定期的な状況把握と入所意思確認を実施し、早期面談を行うことで安定した入所稼働率を目指します。
2. コロナ禍における感染対策に十分配慮し、施設内見学のデジタル化や施設外部とのオンライン化を活用することで、西之島の郷を利用したいと思われるような対応を心掛けます。
3. 関係機関との連携を強化し施設内各部署間の情報共有を確実に行うことで、入居者の生活の質向上を図ります。
4. コロナ禍における地域の社会情勢の変化に対応しながら、地域における社会資源としての役割を果たします。

【事務部】

1. 施設の窓口として、状況に応じた適正な感染対策を継続して実践することで、安全・安心な施設運営を目指します
2. 適正な請求業務を行うとともに、未収金の管理等、適切な月毎の会計処理に努めます。

【栄養管理部】

1. 栄養ケア・マネジメントの取り組み
 - ① ご利用者の重症化が進むなか、最後まで食べることの喜びを提供出来るような栄養ケア・マネジメントを心掛けます。
 - ② 看取り期や褥瘡管理における管理栄養士の役割や関与をこれまで以上に強化し、適正な加算の取得に努めます。
2. 安心・安全な食の楽しみへの取り組み
 - ① コロナ禍における調理の感染症対策を徹底し、安全・安心な食事環境を提供します。
 - ② 旬の食材の使用やリクエスト食の実施による、季節感のある食事の提供に努めます。
 - ③ メッセージカードを添えたユニットでの調理や、西之島カフェ等のイベント開催を行うことで、施設での生活に食の楽しみを提供します。

II ショートステイ

1. 感染症の知識を深め、事業所の特性を鑑みた適正な感染防止対策を徹底します。
2. ご利用者個別のニーズに対応できるよう介護技術・知識の習得と向上に努め、ご利用者の満足度向上を目指します。
3. 業務内容の改善や有効的な有給休暇の取得を図ることで、職員の心身の負担軽減に努めます。

◇令和3年度ショートステイ職員目標◇

他職種と連携し適正な感染防止対策を徹底することで、
職員の心身の負担軽減に努めるとともに安定した稼働率の維持を目指します。

III 居宅介護支援事業所

1. 特定事業所加算（Ⅱ）の算定を継続した事業所の業務体制の強化を図ります。
 - ① 事業所全体で月 152 件／4 名（介護給付 30 件、予防給付・総合事業 8 件）以上の件数を目標とします。介護給付に繋がる予防給付委託事業も継続して参ります。
 - ② 介護保険制度の動向や圏域の福祉情勢に注視し、職員の資質向上と管理能力の向上に努めます。
 - ③ 静岡県医師会の情報連携システム「シズケア＊かけはし」を活用して、在宅看取りに関しても医療との連携を図り、特定事業所加算（Ⅳ）の算定を目指します。
2. 障害者の高齢化が進んでいる福田地域の特性を理解し、地域包括ケアシステムを実践することで「福祉なんでも相談窓口」としての役割を担います。
3. 法人内の居宅サービス事業所と連携を強化し稼働率を意識します。利用者の紹介率の 60% 以上を目標とします。
4. 災害時および感染症拡大時の事業継続計画（BCP）を完成し、行政の協力体制のもとでの避難行動の理解促進に努めます。

5 行事等計画

I 特別養護老人ホーム

【全体行事】

月	主な行事等	備考
5月	春の健康診断、職員健康診断	
7月	七夕	
8月	納涼祭	
9月	敬老会	
10月	地域秋祭り、夜勤職員健康診断	
12月	クリスマス会 お餅つき	
1月	新年会	
2月	節分	

※コロナウィルス感染症の感染状況により、全体行事の実施は柔軟に対応します。

【定期レク・セラピー・クラブ活動等】

名称	開催時期・頻度	備考
音楽療法	開催延期中	コロナウィルス感染症の感染

駄菓子出張販売（駄菓子やっこ様）	不定期実施	状況により、開催時期については柔軟に対応します。
移動訪問販売（縁処：茶屋様）	不定期実施	
生け花クラブ	毎月第3水曜日	
図書クラブ	随時（隔月開催）	
スイーツクラブ	随時（年2回開催）	
居酒屋クラブ（west island）	随時	
バー喫茶「こころ」	随時	
屋台イベント（ラーメン etc）	随時	
床屋	毎月第2、4月曜日	

【その他行事】

名称	参加者	開催時期・頻度	備考
遠足&お食事会	ご入居者・ご家族	年1回	ユニット単位
ドライブ	希望者	随時	初詣・お花見など季節に応じて
買物ツアー	希望者	随時	ご入居者の希望に応じて
誕生日会	ご入居者	毎月1回	ユニット単位
おやつ作り	希望者	随時	ユニット単位
ふれあい動物活動	希望者	随時	地域交流室にて開催します

上記の他、歌や踊り、銭太鼓、読み聞かせなどのボランティアによる催事や地元幼稚園児さんとのふれあい交流会の企画を検討していますが、コロナウィルス感染症の感染状況により、開催可否については柔軟に対応します。

II ショートステイ

月	名称	備考
4月	お花見	桜の綺麗な場所へお花見にご案内します。
5月	春のお茶会	『新茶』をテーマにしたお茶会を開催します。
6月	遠足	希望者が全員参加できるように複数回実施します。
7月	納涼祭	施設全体行事と一緒にご案内します。
8月	花火大会	打ち上げ花火と利用者様には手持ち花火をご用意します。
9月	敬老会	施設全体行事と一緒にご案内します。
10月	地域秋祭り	地域の祭典で屋台の引き廻しをご覧いただきます。
11月	秋のお茶会	『秋』をテーマにしたおやつ作りとお茶会を開催します。
12月	お餅つき	施設全体行事と一緒にご案内します。
1月	新年会	利用者様が一緒に楽しんでいただけるような新年の催しを開催します。
2月	喫茶カフェテラス	同上

名称	開催時期・頻度	備考
健康王国	随時開催	通信カラオケ体操プログラムによる体操レクです
個別外出支援	ご利用者希望	ご利用者の希望に応じて対応いたします

※ショートステイの行事予定は、コロナウィルス感染症の感染状況を鑑みて柔軟に対応します。

6 内部研修・防災計画

【研修区分】

名称	主な内容	時期	対象者
新任職員研修	新任職員対象の基礎研修	毎月第2木曜日	1年目職員
ULスキルアップ研修	テーマ別研修1	毎月第3木曜日	ユニットリーダー
施設サービス向上研修	テーマ別研修2	毎月第4木曜日	1年以上職員
フォローアップ研修	OJT担当、2年次、3年次職員の育成研修	5, 9, 11月の第1木曜日	OJT担当、2・3年次職員
非常勤職員研修	非常勤職員の育成研修	5, 8, 12月の第4木曜日	非常勤職員
外部研修報告会	研修内容の報告会	随時	全職員

新任職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
新任職員研修①	職場概要の理解他	4月1, 4日	新任職員	法人担当者
新任職員導入研修②	実務基礎研修他	4/5, 6, 7, 8, 11, 12	新任職員	FL他
新任職員研修③	身体拘束廃止・虐待の防止	5月12日	1年目職員	成田
新任職員研修④	感染症・食中毒の防止	6月9日	1年目職員	松島
新任職員研修⑤	介護事故の防止	7月7日	1年目職員	甲賀
新任職員研修⑥	褥瘡の発生防止	8月10日	1年目職員	石塚
新任職員研修⑦	看取り介護	9月8日	1年目職員	伊澤
新任職員研修⑧	認知症ケア	10月13日	1年目職員	松島
新任職員研修⑨	個人情報保護	11月10日	1年目職員	塩田
新任職員研修⑩	防災対応	12月8日	1年目職員	成田
新任職員研修⑪	苦情対応	1月12日	1年目職員	甲賀
新任職員研修⑫	腰痛予防と労働安全衛生	2月9日	1年目職員	伊藤
新任職員研修⑬	振返りとフォローアップ	3月9日	1年目職員	成田

ULスキルアップ研修：テーマ別研修1

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、OJT制度、目標管理等	4/14	UL	成田, 松島, 柴田
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/19	UL	安全業務改善委員会
ユニットケア研修	ソフト、ハード、システム運用	6/16	UL	ケア向上委員会
虐待防止研修	虐待防止について	7/21	UL	松島
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	8/18	UL	成田
排泄ケア研修	排泄ケアステップアップ研修	9/15	UL	ユニチャーム, リネン委員会
看取り介護研修	施設における看取り介護	10/20	UL	伊澤
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/17	UL	(株)OKU, 松島
ULスキルアップ研修	管理・運営のスキルアップ研修	12/15	UL	伊藤
医療的ケア研修	褥瘡の知識と発生防止の研修	1/19	UL	石塚
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	2/16	UL	松島
年度末報告会研修	各部署年度末の総括、情報共有	3/16	UL	各部署長, UL

施設サービス向上研修：テーマ別研修2

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
施設サービス向上研修	事業計画、OJT 制度、目標管理等	4/14, 21, 28	1年以上	成田, 松島, 柴田
リスクマネジメント研修	ヒヤリハット分析、事例検討	5/26	1年以上	安全業務改善委員会
医療的ケア研修	褥瘡の知識と発生防止の研修	6/23	1年以上	石塚
施設運営等研修	管理・運営のスキルアップ研修	7/28	1年以上	伊藤
虐待防止研修	虐待防止について	8/25	1年以上	松島
排泄ケア研修	排泄ケア研修（実技編）	9/22	1年以上	ユニチャーム, リネ委員
メンタルサポート研修	職員のメンタルサポート研修	10/27	1年以上	成田
感染症対策研修	感染症の知識および対応、演習	11/24	1年以上	(株)OKU, 松島
接遇マナー研修	介護職員における接遇マナー	12/22	1年以上	ケア向上委員会
外部研修研修	外部研修フィードバック研修	1/26	1年以上	FL
看取り介護研修	施設における看取り介護	2/23	1年以上	伊澤
身体拘束廃止研修	権利擁護と身体拘束廃止	3/23	1年以上	松島

フォローアップ研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
3年次職員研修	3年次職員フォローアップ研修	5/6	3年次職員	甲賀
OJT 担当職員研修	OJT 担当職員の育成研修	9/1	OJT 担当職員	伊澤
2年次職員研修	2年次職員フォローアップ研修	11/4	2年次職員	甲賀

非常勤職員研修

名称	主な内容	時期	対象者	担当者
非常勤職員研修①	理念・事業計画等研修	5/26	非常勤職員	成田, 松島, 柴田
非常勤職員研修②	実践研修（排泄支援）	8/25	非常勤職員	株ユニチャーム
非常勤職員研修③	実践研修（介護技術）	12/22	非常勤職員	松島

防災訓練

月	防災訓練
5月	通報訓練
6月	消火訓練（消火器）
7月	防災教育（防災全般）
8月	2F 模擬避難訓練
9月	3F 模擬避難訓練
10月	訓練オリエンテーション
11月	防災の日モデル訓練見学 一般防災訓練（夜間想定）
12月	防災教育（新任職員）
1月	消火訓練（消火栓）
2月	防災教育（避難所役割等）

7 会議・委員会計画

【定例会議】

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
職員会議	毎月第2木曜日	施設運営、全体課題の協議等	各部署代表, FL
介護部会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	各部署代表, FL, UL
特養・相談部連絡会議	毎月第2木曜日	特養FLと相談部の情報共有	FL, 相談部
フロア会議	毎月第3木曜日	介護業務に関する事等	FL, UL
栄養ケアマネジメント会議	毎月第3木曜日	給食・栄養に関する事	各部署代表, FL, UL
ショート運営会議	毎月第2木曜日	SS運営に関する事等	施設長, FL, 相談員
看護部会議	1回/月	看護業務に関する事等	看護職員
ユニット会議	1回/月	ご入居者の処遇・個別ケア	ユニット職員
優先入所検討会議	4, 8, 12月他随時	優先入所名簿の作成、確認	各部署代表他

【委員会】

名称	時期・頻度	主な内容	出席者
事故防止・安全衛生対策委員会	4・7・10・1月	事故防止と労働安全衛生に関する事	各部署代表
感染・褥瘡予防対策委員会	5・8・11・2月	感染症と褥瘡防止に関する事	各部署代表
身体拘束廃止・虐待防止委員会	6・9・12・3月	身体拘束廃止と虐待防止に関する事	各部署代表
ユニットケア推進委員会	四半期ごと	ユニットケア運営に関わる事	各部署代表
ケアプラン委員会	四半期ごと	ケアプラン業務に関する事	担当職員
接遇向上委員会	四半期ごと	接遇等サービス向上に関する事	担当職員
安全・業務改善委員会	偶数月	安全対策、業務改善および運営に関する事	担当職員
リネン・環境整備委員会	奇数月	施設内外の環境整備、省エネと介護用品の管理	担当職員
ケア向上委員会	偶数月	職員の資質向上、教育・研修に関する事	担当職員
レク行事委員会	奇数月	レク行事全般に関する提案、運営に関する事	担当職員